

令和3年12月11日(土) 10:00～

レンガ坂改修工事説明会

次第

1. 開会
2. 挨拶
3. レンガ坂改修工事の内容説明
4. 意見交換
5. 閉会

以上

配布資料一覧

レンガ坂改修計画について

多摩センター地区

レンガ坂 (市道5-35号歩線) の改修計画について

令和3年12月

多摩市 都市整備部 道路交通課

多摩センター地区
レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

目次

レンガ坂の概要	レンガ坂（市道5-35号歩線）の位置	2
	レンガ坂（市道5-35号歩線）の概要	3
問題点と改修方針	現状の問題点	4
	改修の方針	10
	問題点等への対応策	11
改修計画（平面図）	● 全体	12
	● ①レンガ坂橋周辺	13
	● ②図書館入口周辺	14
	● ③公園と商業施設入口周辺	15
	● ④レンガ坂上広場	16
改修計画（断面図）	現況断面図	17
	改修計画断面図	18
改修計画の詳細	改修計画（イメージ）	20
	舗装計画	22
	照明計画等	24
	植栽計画	26
今後の予定など	ユリノキ更新に関する街路樹診断	28
	今後の予定	31

レンガ坂（市道5-35号歩線）の位置



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

レンガ坂（市道5-35号歩線）の概要

レンガ坂は、

多摩中央公園と商業施設に挟まれた、鉄道駅を中心とした商業業務施設と住宅地を結ぶ、ユリノキがある直線坂による良好な景観を有する自転車歩行者専用道路です。

フリーマーケット等のイベントも行われています。

今後の、レンガ坂北側角地に図書館が新設され、さらに利用者の向上が見込まれる道路となっています。

幅員	15m（通行部4.0m、植栽帯5.5m両側）
断面	勾配6%
舗装	炉器質レンガタイル
植栽	ユリノキ
動線	全長にわたって緊急車、管理用車が通行
街路灯	29基（LED）



現状の問題点

整備後30年が経過し、老朽化も含め、現状では以下のような問題や利用者の声が上がっています。



交 錯

2018年の調査より、約9割弱の方が歩行者と自転車の交錯経験があると回答しています。



スピード

坂のため、自転車がスピードを出しやすく、歩行者にとってとても危険です。



滑 る

レンガ舗装のため、雨が降ると特に滑りやすくなります。



倒 木

ユリノキの大木化や一部生育不良により、台風で倒木する被害が出ています。



イベントも可能な 休憩空間の確保

2018年調査で、約7割の方が「休憩場所があるとよい」と回答しています。また、イベント利用への配慮も求められています。

台風による倒木被害（2019年9月）



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

参考

レンガ坂環境改善に関する社会実験（2018年）

レンガ坂の舗装の老朽化等に伴う改修工事に向けて、レンガ坂の様々な問題解決を図るための社会実験を実施し、利用者の方の声を調査しました。

実施日

2018年11月4日（日）

内容

①歩行者道と自転車道の分離社会実験

②座り場の環境改善に向けた社会実験

③アンケート・インタビュー調査



①歩車分離実験



②座り場の実験



③アンケート

参考

オープンハウス（パネル展示・事業説明会）の実施①（2020年）

実施概要

レンガ坂の改修整備に向け、レンガ坂の現状に関する市民意見を伺うとともに、改修方針や改修内容、更新する樹木の樹種等に関し、幅広く伺った。

実施日：2020年10月24日（土）

時間：10：00～16：00

場所：レンガ坂上広場

実施内容

1) 相談ブースでの対応

- ・利用者のレンガ坂改修整備に関する意見や質問への受付対応

2) 樹木イメージアンケート（A1パネル1枚）

- ・A1パネルへのイメージアンケートの実施

3) 利用者インタビュー調査

- ・利用者へのインタビュー調査を実施

↑当日展示した「レンガ坂改修整備のお知らせ」パネル

多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

参考

オープンハウス（パネル展示・事業説明会）の実施②（2020年）

調査結果

10月24日（土）の相談窓口及びインタビュー調査において、計72人（ペアやグループも1人とカウント）の方より意見を伺った。

主な市民の声

- ①舗装の滑りやすさ及びでこぼこ
- ②自転車の交錯の解消
- ③自転車のスピード抑制
- ④樹木の倒木の不安
- ⑤休憩施設の不足
- ⑥イベント等への対応が不十分
- ⑦現状の景観（緑やレンガ）のイメージの継承
- ⑧夜間が暗い



↑相談ブースでの対応の様子



↑樹木イメージアンケートの様子

参考

樹木イメージパネルアンケートの実施（2020年）

樹木イメージアンケート結果

更新が必要なユリノキに変わって、どのようなイメージの樹木がよいか、パネルアンケートを実施。

実施期間：10月1日（木）～11月2日（月）

設置場所：・ココリア多摩センター3階 ドコモショップ横

・クロスガーデン多摩2階 タカハシ付近

※上記に加え、オープンハウス時にも実施



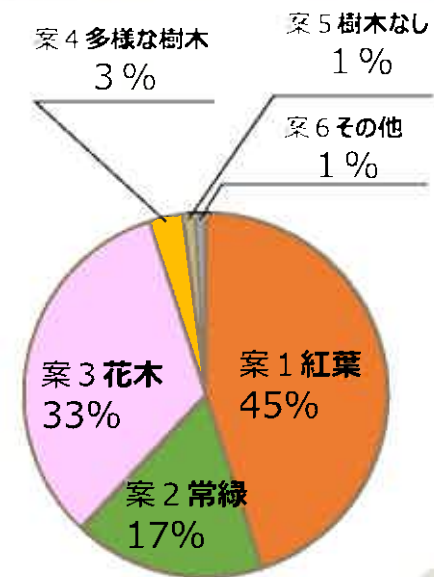
実施結果（5つのパネルで計973の回答）

・実施結果は、比較的様々な意見があることが伺えたが、最も多い意見は、

「**案1：紅葉が楽しめる樹木**」（428回答）が約**45%**で全体の約半数を占めた。

・次いで、「**案3：花木が楽しめる樹木**」（325回答）が約**33%**を占めている。

パネル	案1 紅葉	案2 常緑	案3 花木	案4 多様な 樹木	案5 樹木 なし	案6 その他	計
クロスガーデン①	125	53	118	7	5	1	309
クロスガーデン②	77	38	53	14	2	2	186
クロスガーデン③	75	41	80	7	4	1	208
ココリア	44	12	33	4	1	0	94
オープンハウス	107	25	41	1	1	1	176
計	428	169	325	33	13	5	973



改修の方針

現状の問題を解決すべく、3つの改修方針を定めました。

方針 1 歩行者の安全性を確保するため、歩行者道と自転車道を分離します。

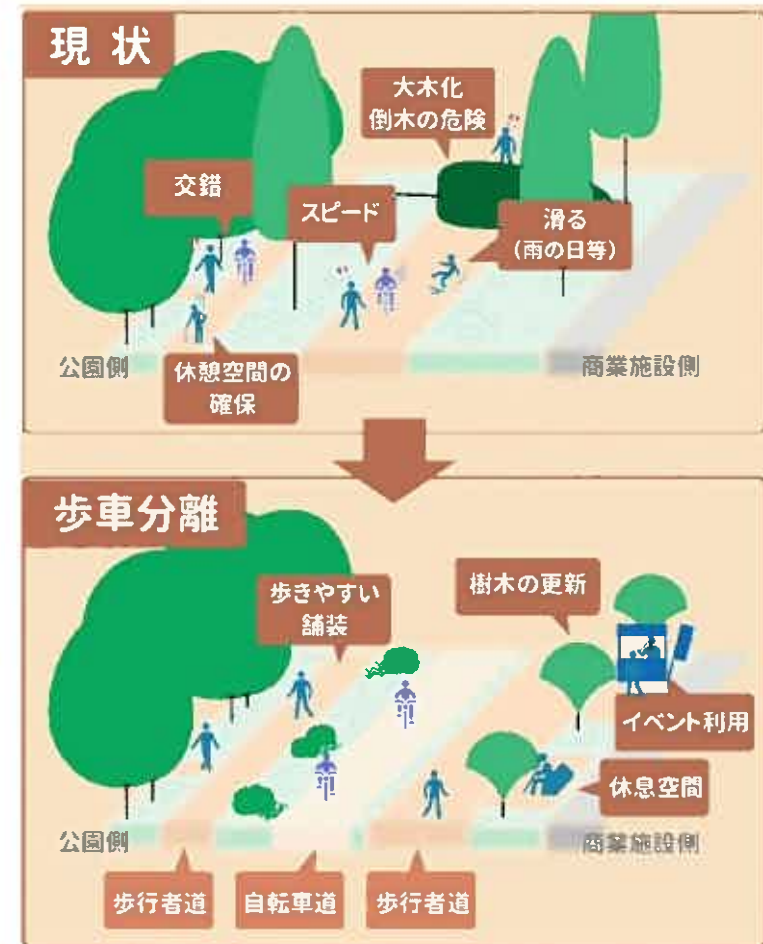
空間の中央部に自転車道を配置し、公園や商業施設側に歩行者道を配置することで、歩行者と自転車の交錯を軽減させる空間に改修します。

方針 2 大木化し倒木の危険のある樹木を更新します。

大木化や老木化により、倒木の危険がある樹木を更新し、新たな緑の空間に改修します。

方針 3 歩きやすい舗装や、イベントにも対応した休憩空間を確保します。

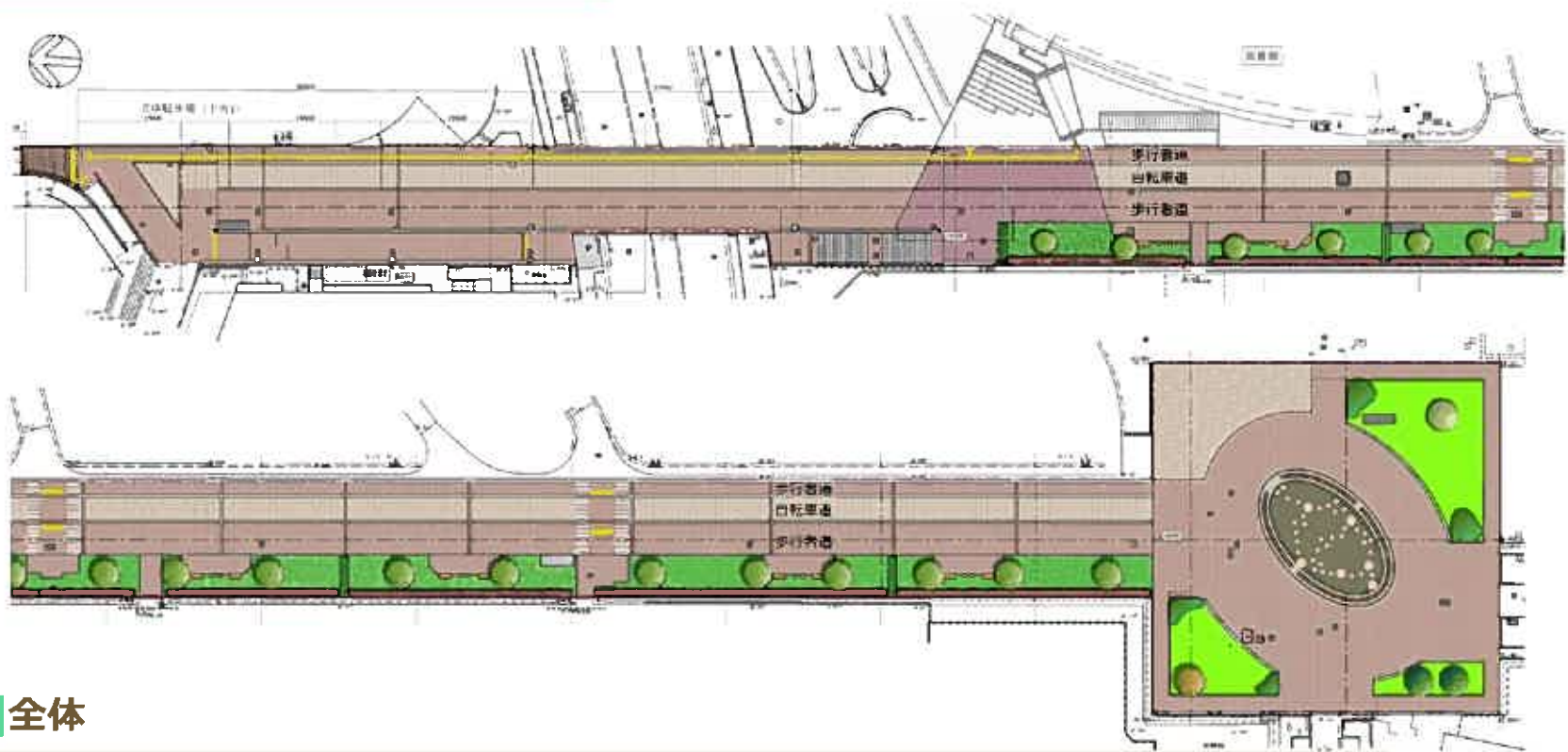
雨の日などの歩きやすさへの配慮や、単に通過する動線だけでなく、座ってつるげる休憩空間やフリーマーケットなどのイベントにも対応可能な設備を備えた空間に改修します。



問題点等への対応策

主な市民の声	改修計画での対応策
①舗装の滑りやすさ及びでこぼこ	再整備により解消
②自転車の交錯の解消	自転車道・歩行者道の分離で対応
③自転車のスピード抑制	レンガ坂上広場でのスピード抑制対応、 交差部の明確化
④樹木の倒木の不安	樹木の更新
⑤休憩施設の不足	休憩スペース及び施設の増加
⑥イベント等への対応が不十分	イベントスペースや設備の確保
⑦現状の景観（緑やレンガ）の イメージの継承	舗装イメージの継承 紅葉が楽しめる樹木に更新 （アンケート結果より）
⑧夜間が暗い	照明の変更により対応

改修計画（平面図-全体）



全体

幅員構成

路線全体を自転車道と歩行者道に分離します。

舗装

- ・雨の日など滑りやすいため、滑りにくいアスファルト系舗装とします。
- ・歩行者部分の舗装デザインは、レンガをイメージさせるデザインとします。
- ・歩行者道と自転車道が明確になるように、歩行者及び自転車のサイン表示をします。

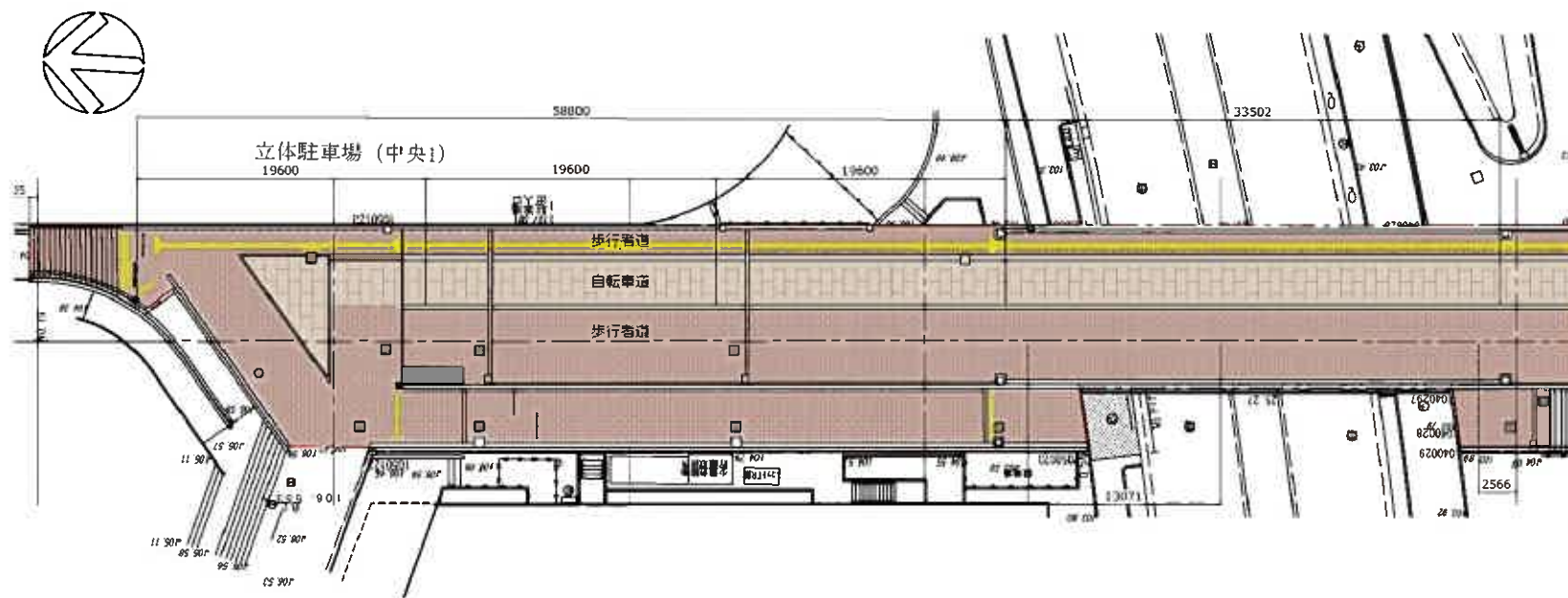
改修計画①－レンガ坂橋周辺



全体

舗装

・舗装に連続的に誘導サインをいれ、目の不自由な方を図書館まで誘導します。



レンガ坂橋

橋の欄干（側面部分）

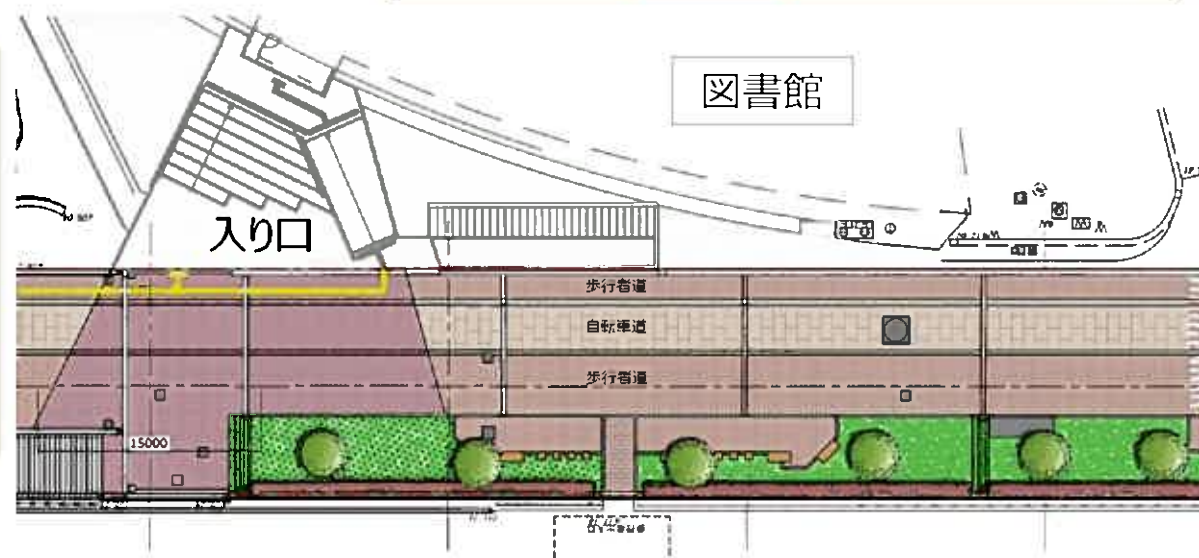
・既存のレンガタイルを保全します。

改修計画② – 図書館入口周辺



図書館前

・図書館入り口付近では、図書館入口部のデザインと一体となって、景観的な連続性とともに、レンガ坂での横断移動への注意喚起を促すデザインとします。



全体

休憩施設

- ・歩行者道にそって、どの場所でも休憩やくつろげる休憩スペースを整備します。
- ・イベント時に使えるように、所々に電源や水の確保をできる設備を設置します。

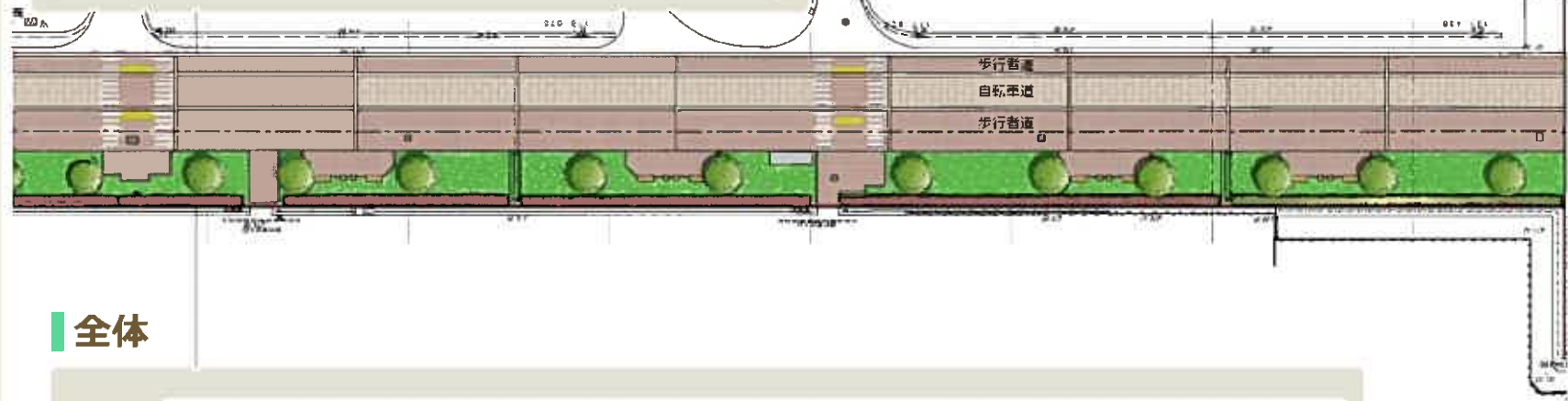
植栽

- ・休憩スペースを中心に、花や紅葉が楽しめる樹木とします。

改修計画③ – 公園と商業施設入口周辺

レンガ坂中央部

・多摩中央公園と商業施設との往来が多い場所であるため、商業施設入り口周辺は、自転車のスピード抑制をする工夫やスムーズな横断を促すよう舗装材を変えています。



全体

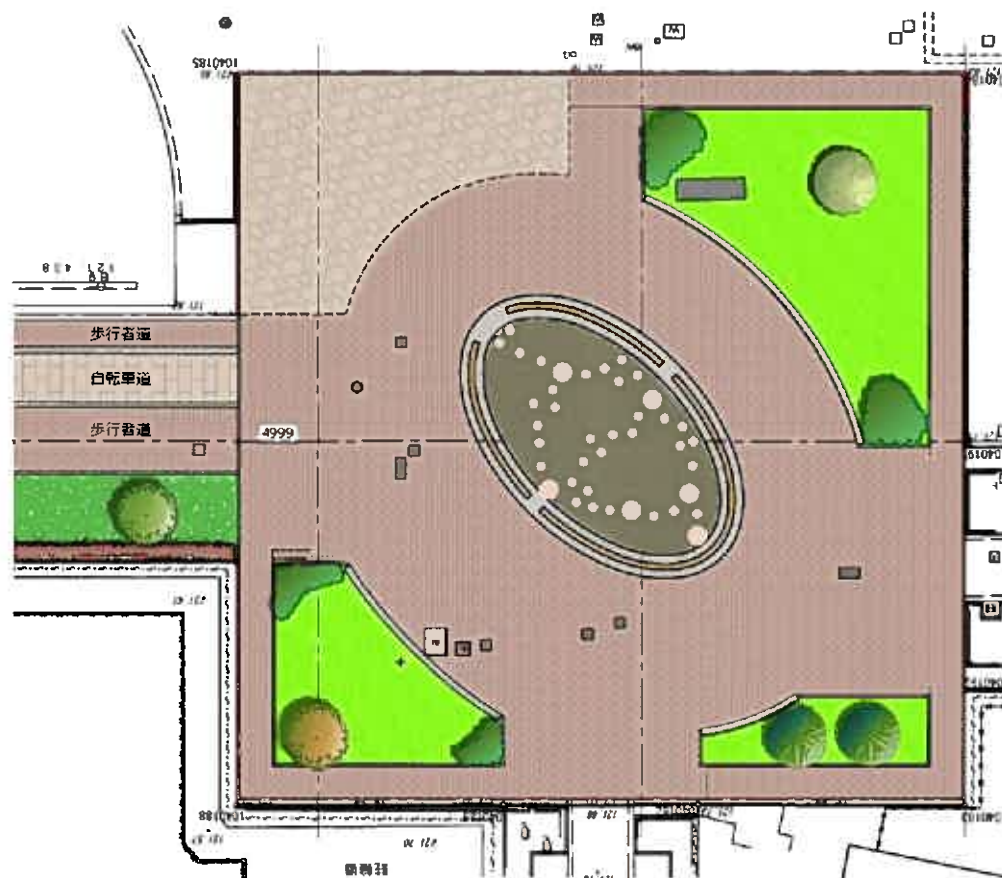
- 舗装** ・横断部では、自転車道の注意喚起のための点字ブロックや横断部の明示をしています。
- 休憩施設** ・歩行者道にそって、どの場所でも休憩やくつろげる休憩スペースを整備しています。
・イベント時に使えるように、所々に電源や水の確保をできる設備を設置しています。
- 植栽** ・休憩スペースを中心に、花や紅葉が楽しめる樹木としています。

改修計画④－レンガ坂上広場

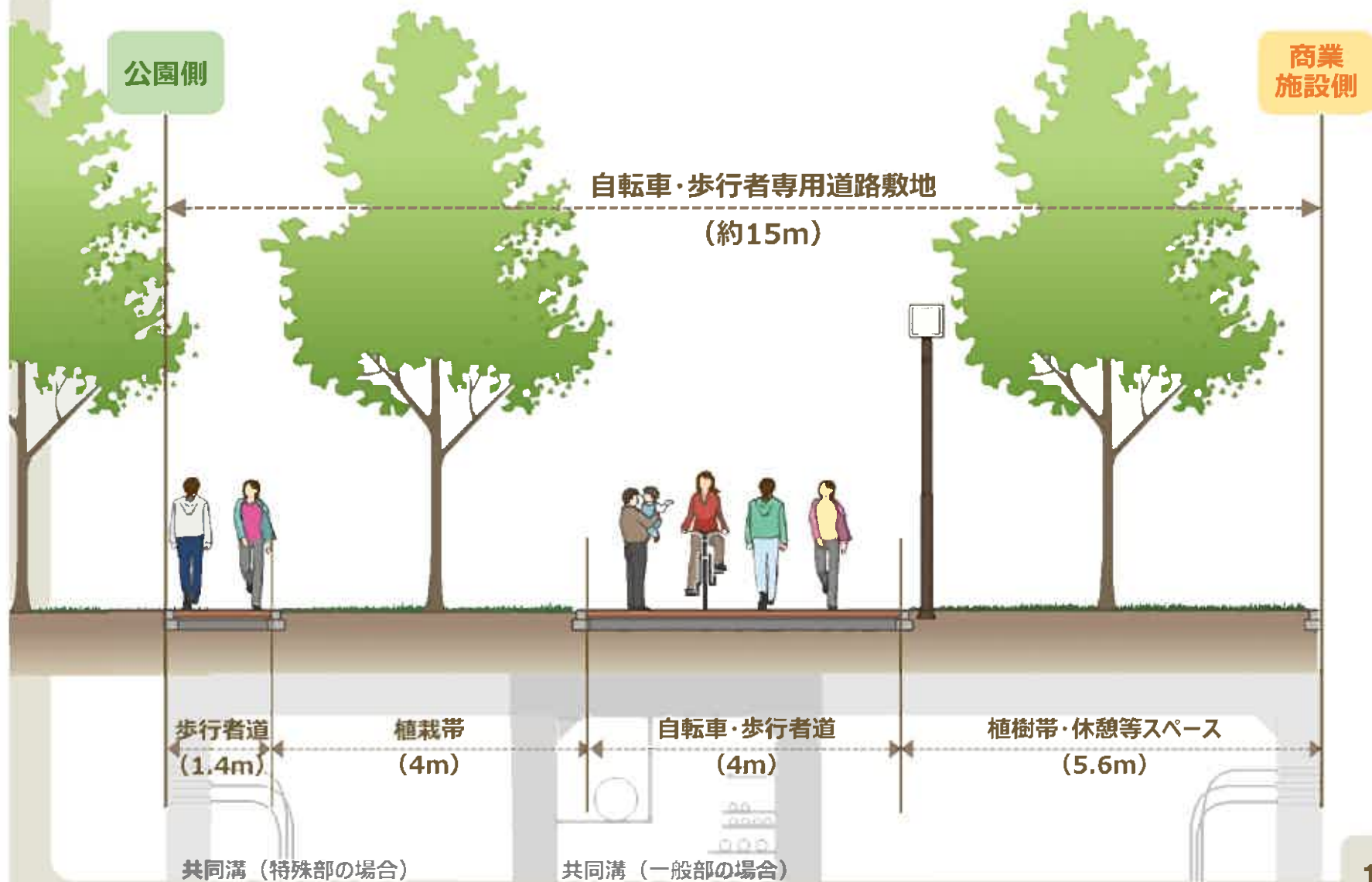


レンガ坂上広場

- ・歩行者や自転車の交通結節点であるとともに、人々が集まる交流広場となっています。
- ・そのため、現状の滞留的な広場利用をされる方々が、より安心して広場を活用できるように中央部に人々が憩いくつろげる滞留空間を設置し、滞留空間と通行空間の分離を図っています。
- ・中央広場及び周辺植栽地の縁辺部には、コンクリートベンチを設置し、外向きで一人でたたずんだり、中を向いて会話を楽しんだり、様々な利用が活用な座り場を設置しています。

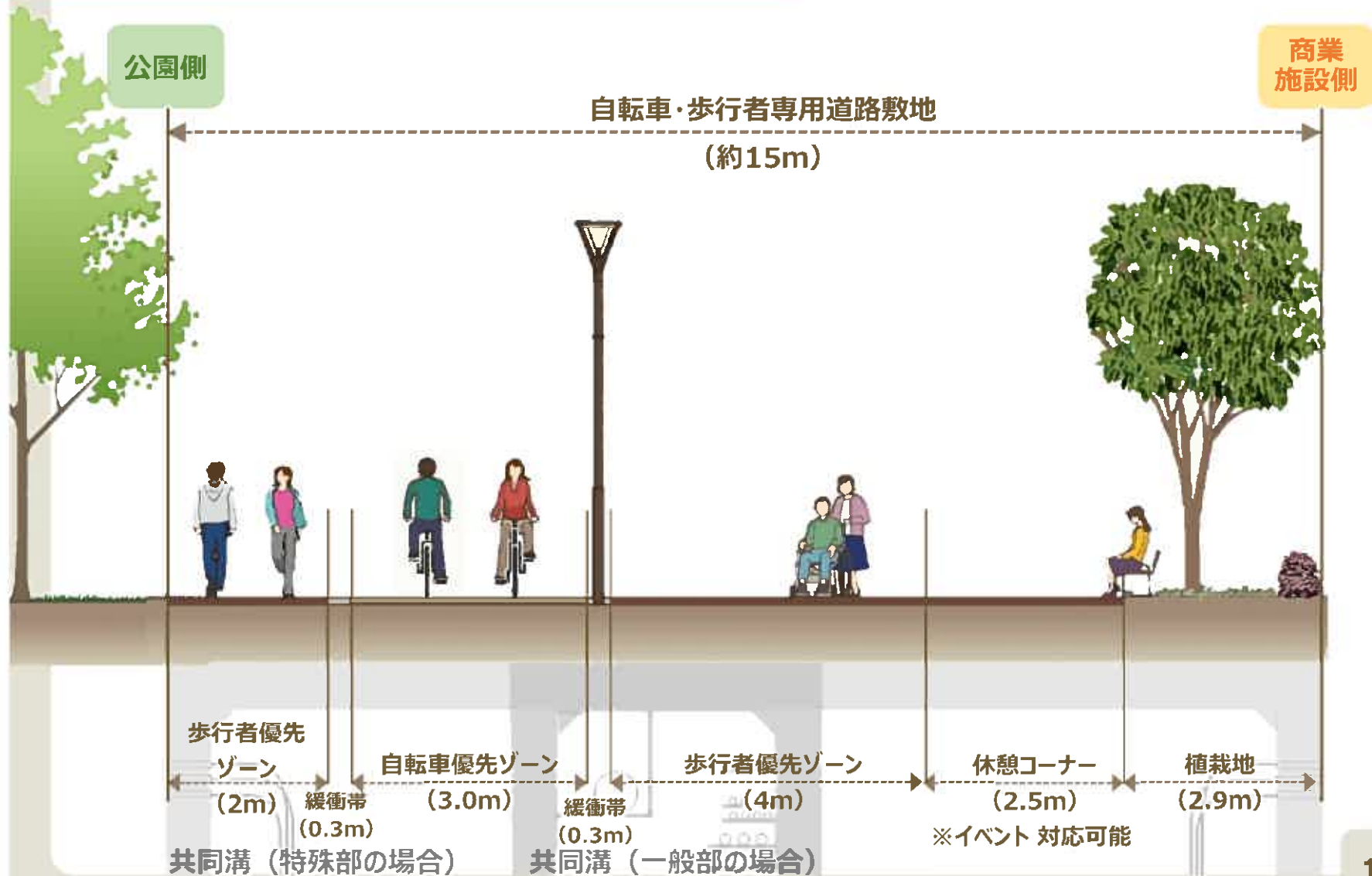


現況断面図



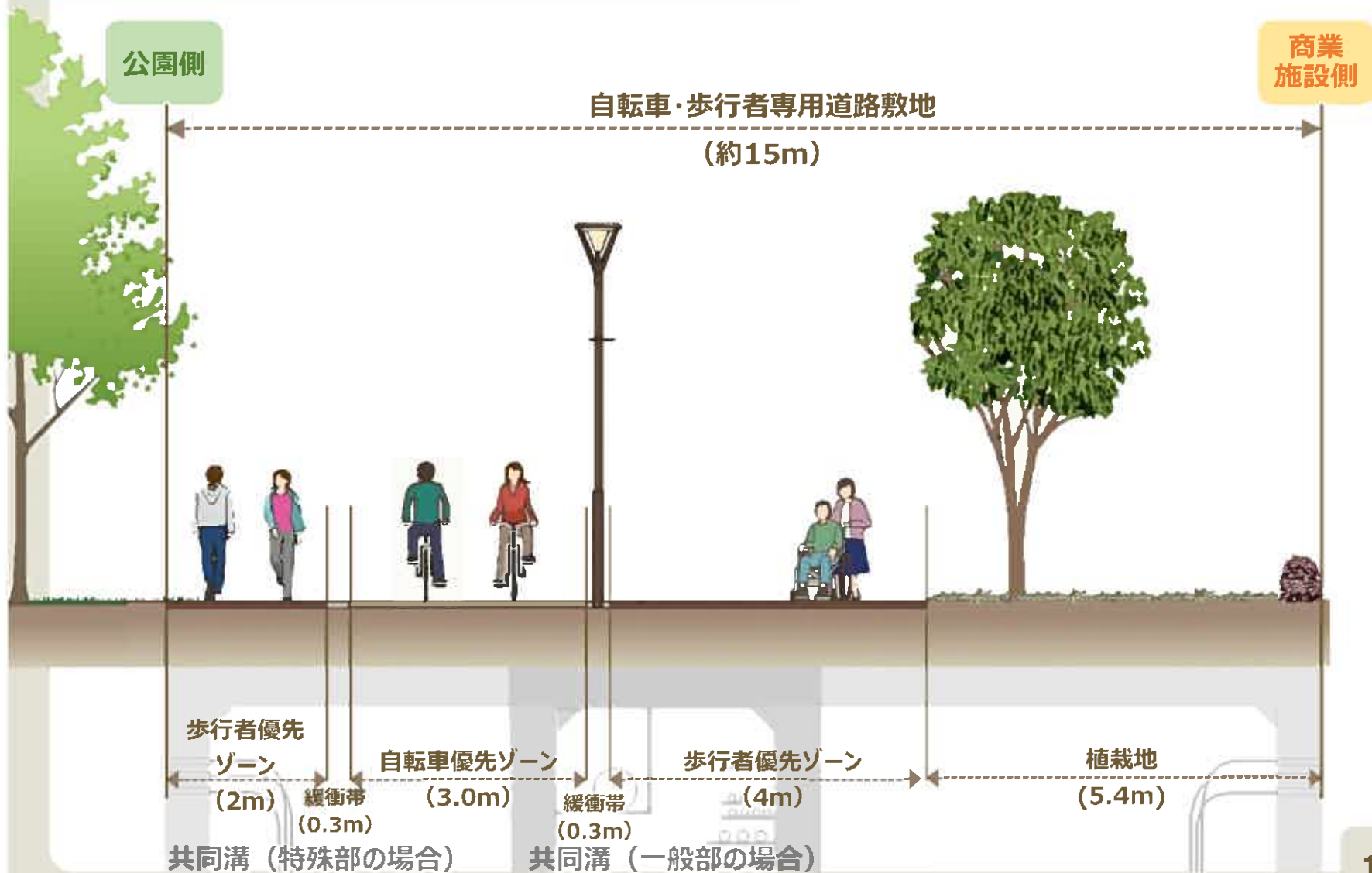
多摩センター地区 レンガ坂 (市道5-35号歩線) の改修計画について

改修計画（断面図）「休憩コーナーあり」



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

改修計画（断面図）「休憩コーナーなし」



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

改修計画（イメージ）

レンガ坂橋からレンガ坂方面みた様子



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

改修計画（イメージ）

レンガ坂上広場の様子



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

舗装計画

舗装材について

型押し式カラーアスファルト舗装とは、アスファルト舗装の表面そのものを石畳やレンガ敷きのように変えてしまう工法です。アスファルト舗装は一般的な工法ですが、「劣化しやすい」「見た目が貧弱」という難点がありますが、本工法は見た目が美しく耐久性に優れたアスファルト舗装が実現します。



舗装計画

舗装材について

歩道

- レンガ坂を感じさせるレンガデザインとします。

自転車道

- 歩道空間と区別しやすいベージュ系の舗装とします。

レンガ坂上広場 (公園出入口)

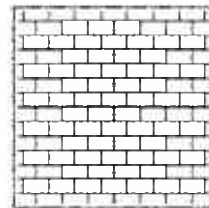
- 多摩中央公園の南西の主要出入口としてゲート性に配慮したデザインとします。

歩道の舗装デザイン

カラー テラコッタ



デザインパターン オフセットブリック



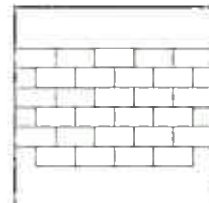
寸法:3.0m×2.0m
ブリックサイズ:225mm×124mm

自転車道部の舗装デザイン

カラー ドリフトウッド



デザインパターン ストーンペイブ



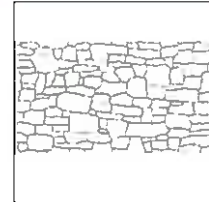
寸法:3.0m×1.8m
ブリックサイズ:600mm×300mm

レンガ坂上広場（公園出入口）の舗装デザイン

カラー ドリフトウッド



デザインパターン ランダムストレート



寸法:2.7m×1.8m

照明計画

照明について

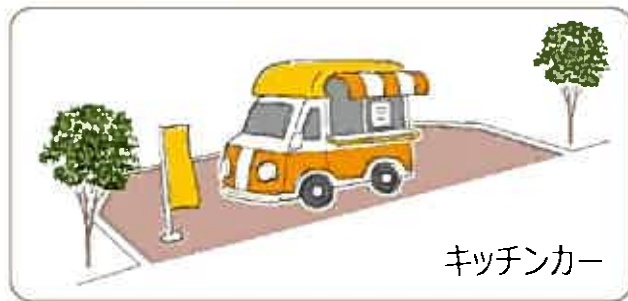
- ・照明について市民の皆様から暗いとの意見もあり、更新します。
- ・自転車や歩行者の通行に配慮した位置への設置します。
- ・照明ポールは、周辺の緑景観に配慮しブラウン系のシンプルな形状とします。
- ・ランプはメンテナンス性に配慮しLEDとし、温かみのある色温度とします。
- ・環境配慮として、光が上空にもれないようにします。

高さ	4.5m
ランプ	LEDランプ
色温度	2700k~3000k



休憩スペースのイベント利用対応

フリーマーケット利用想定部分



キッチンカー



フリーマーケット

イベント利用に対応した設備

コンセント



水道口



本体 :
W550 × D705 × H700
柵蓋 : W450 × D450

植栽計画

植栽については、市民アンケート調査等をもとに、紅葉が楽しめる樹木を中心に花も楽しめる樹木を合わせ四季折々に緑が楽しめる植栽とします。

レンガ坂

高木：ヤマボウシ ウルフアイ

地被：ハツユキカズラ

地区界：アカバナトキワマンサク



ヤマボウシウルフアイ



ハツユキカズラ



アカバナトキワマンサク

レンガ坂上広場

高木：イロハモミジ 司シルエット、
常緑ヤマボウシ、サトザクラ

低木：アセビ

地被：シロツメクサ



サトザクラ



イロハモミジ
司シルエット



常緑ヤマボウシ



アセビ

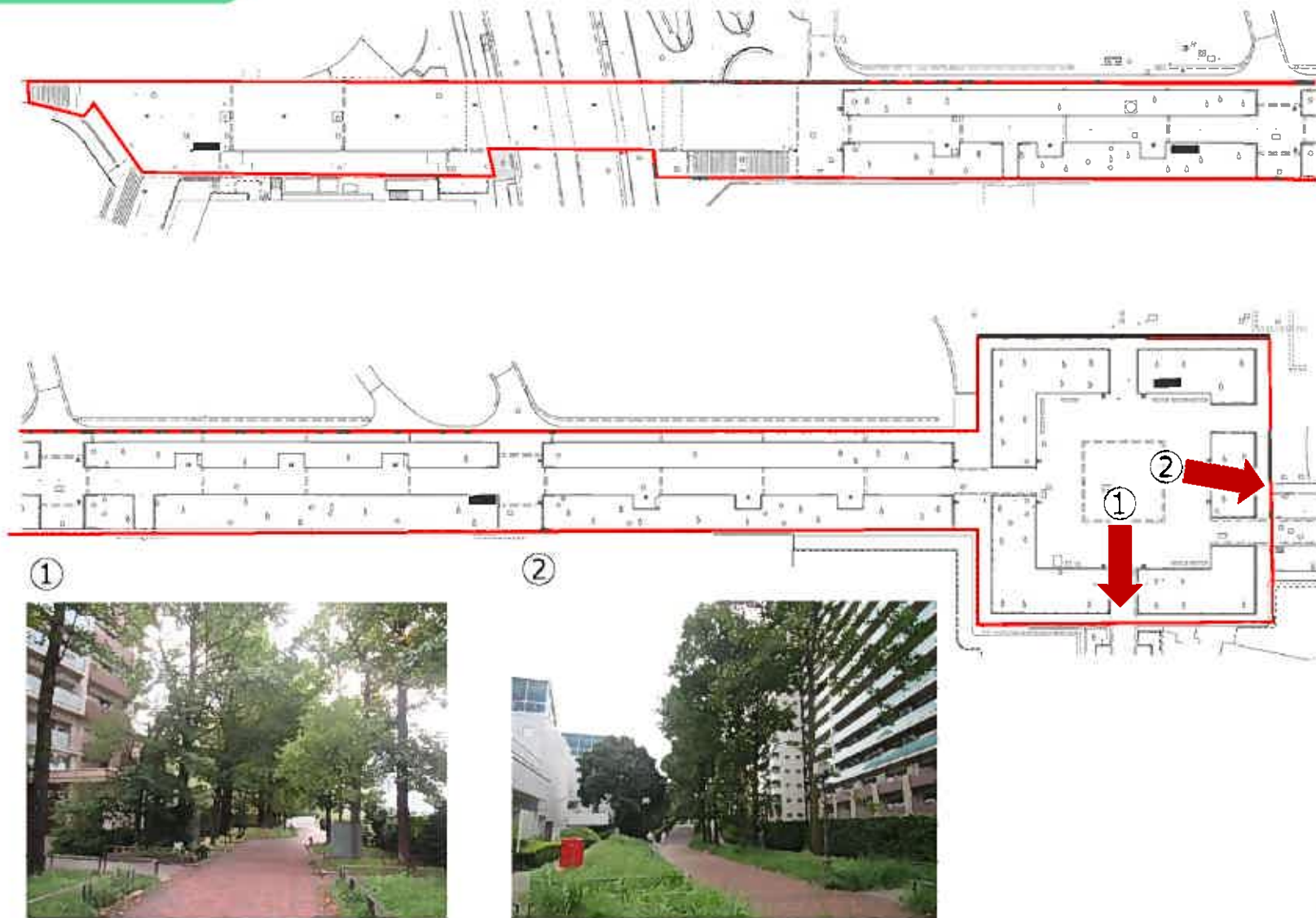


シロツメクサ
リップ



シロツメクサ
オニキス

伐採範囲



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

ユリノキ更新に関する街路樹診断

診断日

- ①初期診断 2020年2月5日（水）、10日（月）
- ②土壌断面調査 2020年3月5日（木）

調査概要

近年の台風によるユリノキの倒木や一部先枯れが見られることから、生育環境を調査するため街路樹診断として、初期診断及び土壌調査を実施した。

- ①初期診断：樹皮枯死欠損、空洞、キノコの有無、傾斜、病虫害などを目視観察
- ②土壌調査（3箇所）：根鉢近くの幅約1m×深さ約1mを掘削して、ユリノキの根系を目視観察

初期診断結果

①樹木構成	樹種名	ユリノキ	その他（カエデ類他）	計
	本数	106	14	120

②初期診断判定 （異常あり）	樹種名	ユリノキ	その他（カエデ類他）	計
	本数	66	11	77

③専門診断の必要性 （あり）	樹種名	ユリノキ	その他（カエデ類他）	計
	本数	9	7	16

■ 土壌断面調査

土壌断面調査より、根系は、G L -30cm付近までしか展開していなかった。根系は植込地内を土層に浅く広く展開している。植込地は南北方向に広く連続しているが、東西方向は狭い。よって、強い東西方向の強風による根返り倒木の可能性が考えられる。

ユリノキの移植については、地下部に根系に絡むような支障物が見られなかったことから適正根鉢（根鉢径＝根元直径の4倍～5倍、根鉢高＝根鉢直径の1.2倍～1.5倍）は確保できると思われる。しかし、根系は壌土層のG L -30cmに展開しており、埴壤土層及び埴土層には殆ど展開していない。適正根鉢の掘り取りができて、揚重作業等では根鉢が崩壊し、根系がある部分のみ（根鉢高は約30cm）の薄い皿鉢となることが予想される。よって、**現在の樹木形状（幹及び大枝）のままでの移植は不可能**である。

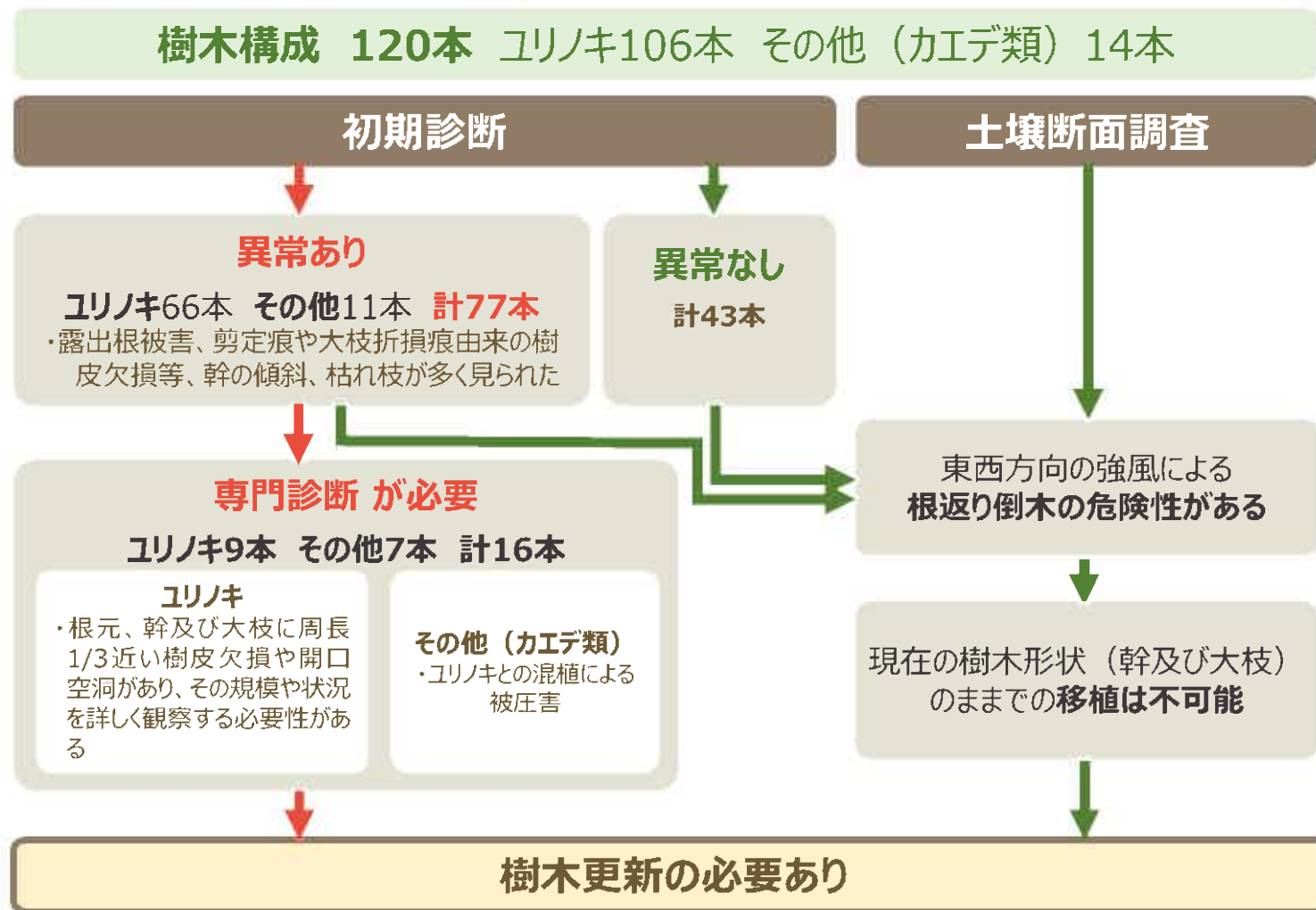
これらの結果から、初期診断で異常がないと判定した樹木でも、現状で台風などの影響により倒木の危険性があるため、樹木更新の必要がある。その際、レンガ坂の地下部には共同溝等があるためユリノキのような高木は適していない。



写真 29

街路樹診断 まとめ

近年の台風によるユリノキの倒木や一部先枯れが見られることから、生育環境を調査するため街路樹診断として、初期診断及び土壌調査を実施した。

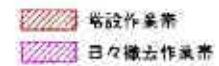


今後の予定

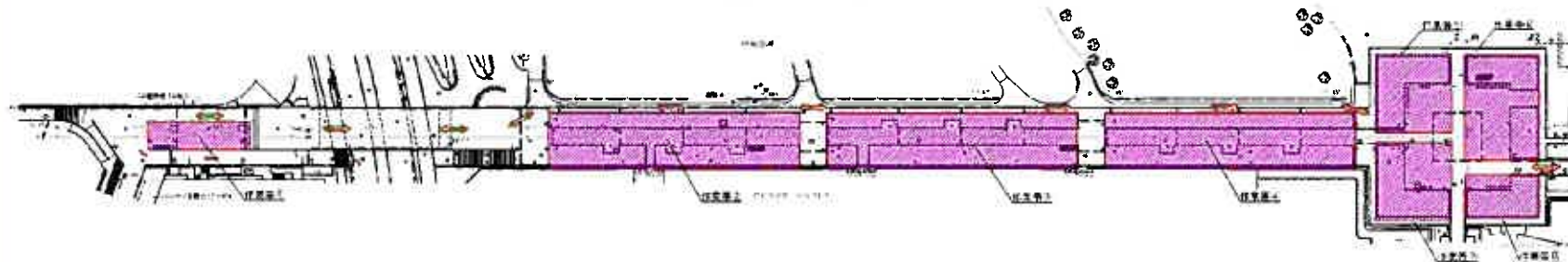
工事期間：R3年10月～R5年6月末を予定

(工事の予定)	令和3年			令和4年												令和5年						
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
仮設ヤード設置・撤去	■																					■
樹木伐採・植樹工事				■	■																	
舗装改良工事					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
舗装仕上げ工事																	■	■	■	■	■	

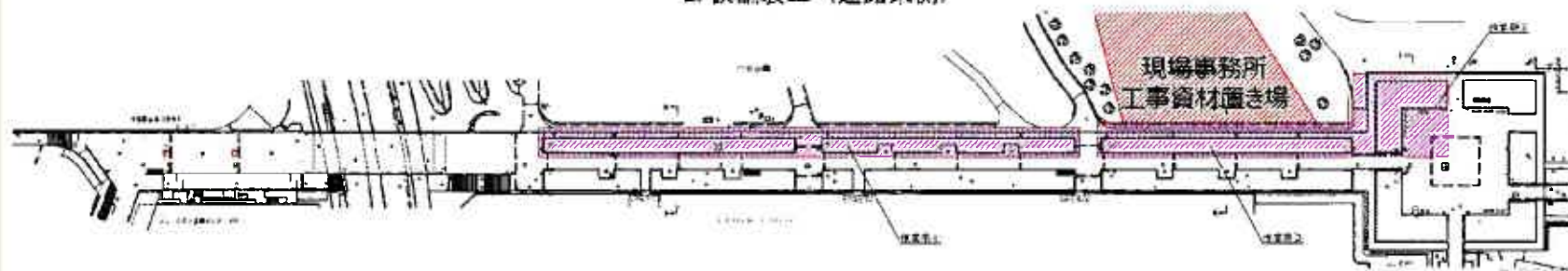
工事ステップ図（準備工）



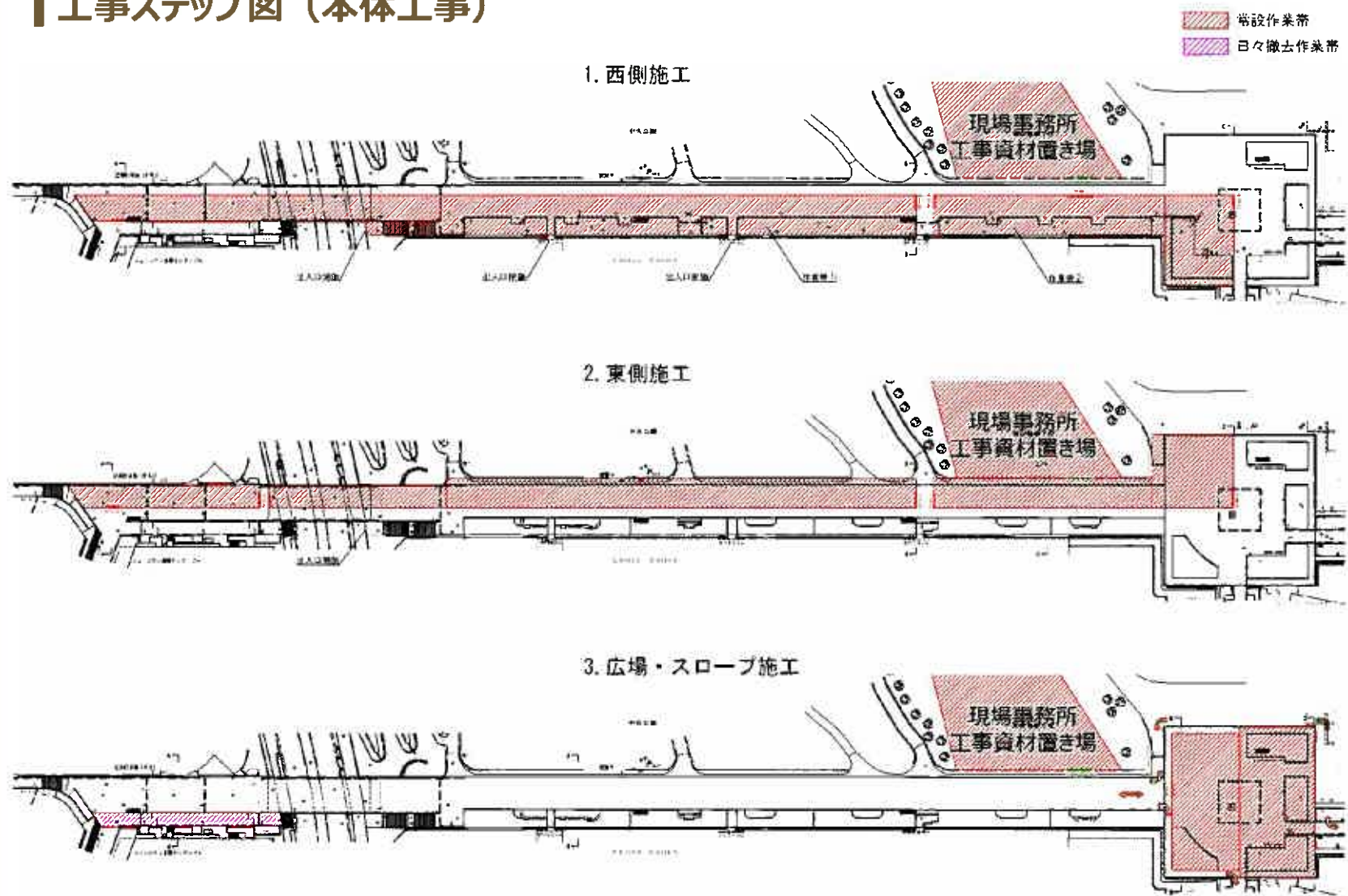
1. 樹木伐採工（通路～広場全体）



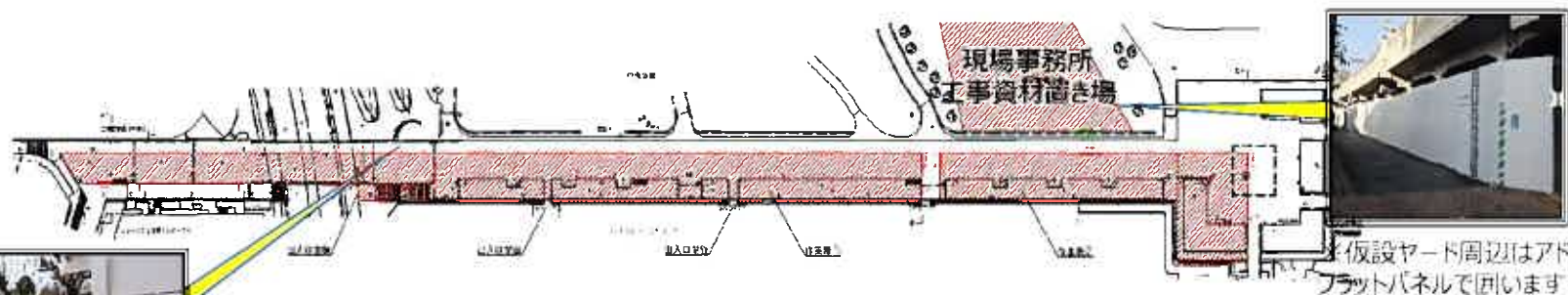
2. 仮舗装工（通路東側）



工事ステップ図（本体工事）

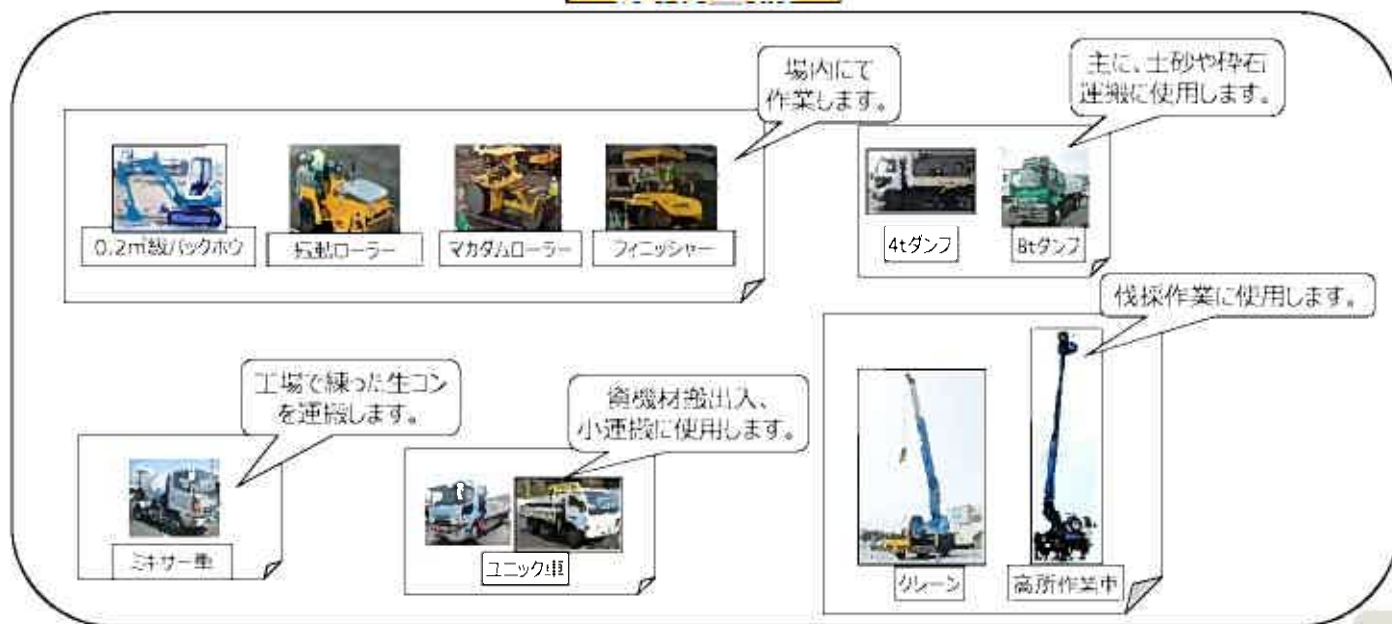


■ 仮設時の様子

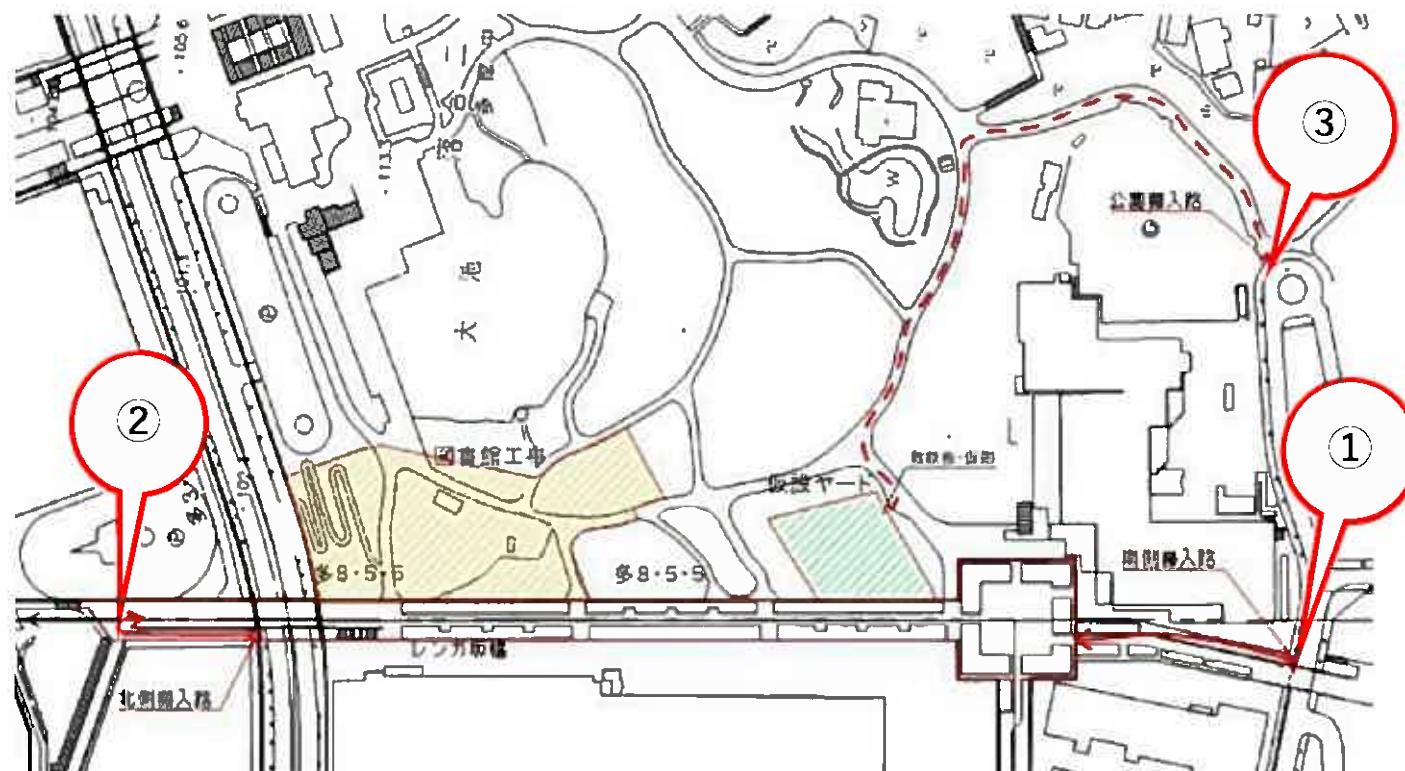


※作業箇所はH鋼にフェンス取付金具を取付け、フェンスを設置します。また、仮設の照明を設置します。

使用重機



工事車両の搬出入計画



搬入場所

車両搬出入場所は3箇所

- ①南側スロープ メインルート
- ②北側スロープ サブルート
- ③公園側搬入路 サブルート

- ・資機材搬出入の基本的なルートとしては南側スロープとし、8t車以下の車両を使用します。
- ・大型車両の搬入については公園側ルートとします。

※安全対策

工所用搬入時は、出入口及び通行路に誘導員を配置します。

公園内では最徐行するとともに、誘導員を配置し第三者の運行及び安全を最優先します。

多摩センター地区

レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について

**ご理解の程よろしくお願いいたします。
ご清聴ありがとうございました**

令和3年12月

多摩市 都市整備部 道路交通課